

保護者のみなさま

香里ヌヴェール学院小学校

校長 東山さゆり

## 2021年度 学校評価について

保護者のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、この度は、学校評価にご協力をいただき、ありがとうございました。今年度は、保護者様と全校児童を対象に、2021年11月26日～30日の期間に実施いたしました。また、今年度より保護者様と3年生以上の児童には、Google Formsを使用する形に変更させていただきました。1・2年生は質問紙を回収する方式をとらせていただきました。

児童対象アンケートは、21項目の質問に対して「とても当てはまる」「当てはまる」「当てはまらない」のいずれかであるかを尋ねました。また、保護者様対象アンケートでは、18項目の質問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「その他、ご意見等がございましたらご記入ください」と自由記述欄を無記名式で設け、ご意見をいただきました。

以下には、保護者様対象アンケートの考察を、裏面に全校保護者と全校児童（1～6年生を合計したもの）のアンケートの回答の集計結果を掲載しております。

なお、各学年の児童対象アンケートの結果と考察は、学年ごとに行ったものを別紙にて配付いたします。

### （1）保護者様アンケート集計結果から

#### 【人間性に関わる項目より】

「①わが子は自分のことを大切に思っている」「②わが子は友だちを大切に子どもに育てている」「③わが子は自分の力を人のためにつかう子どもに育てている」の結果で95%を超える肯定的な評価が、また「⑩学校ではカトリック精神に基づいた人間教育が十分に行われている」でも90%を超える肯定的な評価があり、自分と周りの人を大切に育てる様子が見えます。これは、カトリックの人間観・世界観に沿った宗教教育の価値観そのものであり、大変うれしく思います。

一方で、自由記述の中では、「言葉づかいの乱れ」や「電車やバス内など登下校中の態度の乱れ」を指摘されるご意見も見られました。相手を大切に育てる言葉や行動は、家族や学校の友だちだけでなく、すべての隣人に同じようにできることを意識し、宗教教育を基盤としながら、社会の中でよりよく生きようとする道徳心も育てるように努めてまいります。

#### 【教育活動に関わる項目より】

「⑧わが子は学校が楽しいと言って行くのを楽しみにしている」「⑩学校は基本的な知識・技能の定

着に向けた授業を行っている」「⑫学校は子どもの努力を認めたり励ましたりして、温かく接しようとしている」の項目で90%以上の肯定的な評価となり、学校が取りくんでいる教育活動をおおむね評価していただけたことはうれしく思います。また、「⑮学校はICT機器（iPad、Chromebook、テレビやプロジェクター）を積極的に活用した授業を行っている」でも90%以上の肯定的な評価となりました。コロナ禍で臨時休校となる中でオンライン授業の実施や、ICT支援員の常駐などによるサポート体制の整備などを評価していただくことができました。

また、英語の取組について、SECのイマージョン授業や、SSCでも1年入学時から週に4時間相当（モジュールタイムを含む）の英語の授業を実施していることは、私立学校としての本校の特色の一つです。語学の習得は、一朝一夕の内にならうものではありませんが、一方で、英語の授業を通して目に見える形での学習の成果（例えば語彙量を増やすこと、英検の受検）を強く求められているニーズがあることも自由記述よりうかがうことができました。子どもたちがより一層、英語の理解を深め、学びが定着するような取組も考えていきたいと思っております。

## （２）保護者様アンケート自由記述から

学校が日頃から熱心に教育活動を進めていることを、好意的に見て評価してくださっている保護者様が多数いらっしゃることは、とてもうれしく思います。

主なご意見としては、①学級差のない学習指導や生徒指導、②英語教育の見える成果への期待、③学校行事の取組みの在り方などがあげられます。いただいたご意見は、教職員でしっかりと確認し、改善及び今後活かしていきたいと思っております。

### ■主なご意見

#### ①学級差のない学習指導や生徒指導

- ・教員の指導方法、対応のちがいが。
- ・授業進度、宿題量、宿題のチェックの在り方の差。
- ・言葉遣い、通学マナー等の在り方。

#### ②英語教育の見える成果への期待

- ・英検を受検させてほしい。
- ・語彙の量を増やしてほしい。
- ・内部中学校の説明会を実施してほしい。
- ・SEC英語イマージョンと共に、基礎学力定着のための日本語での授業も検討してほしい。

#### ③コロナ禍の学校行事の取組みの在り方

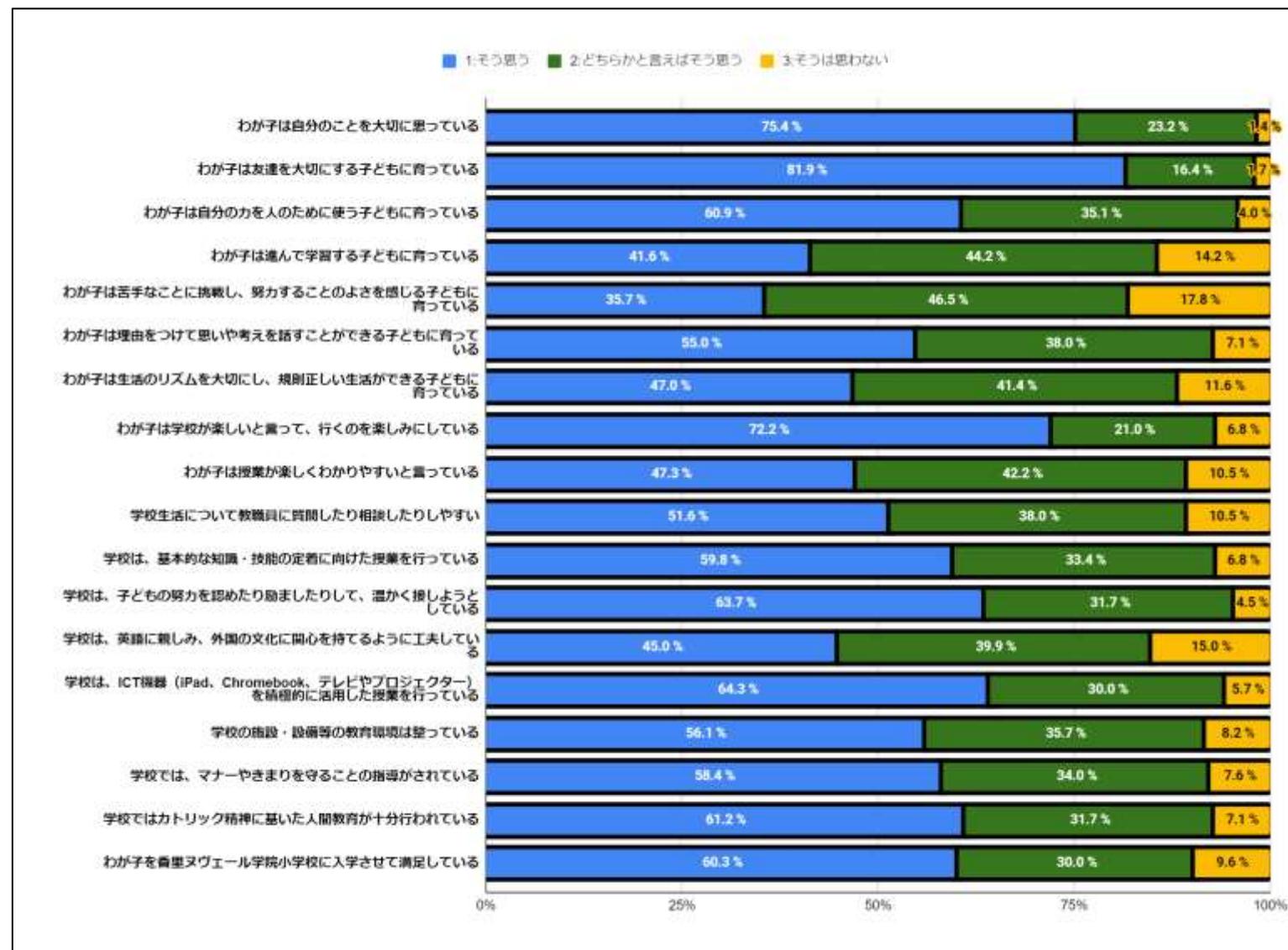
- ・運動会が簡素すぎる。（賛否両論あり）
- ・保護者が学校の行事に参加できる機会をもっと作ってほしい。
- ・合宿の宿泊日数を増やしてほしい（賛否両論あり）

#### ④その他

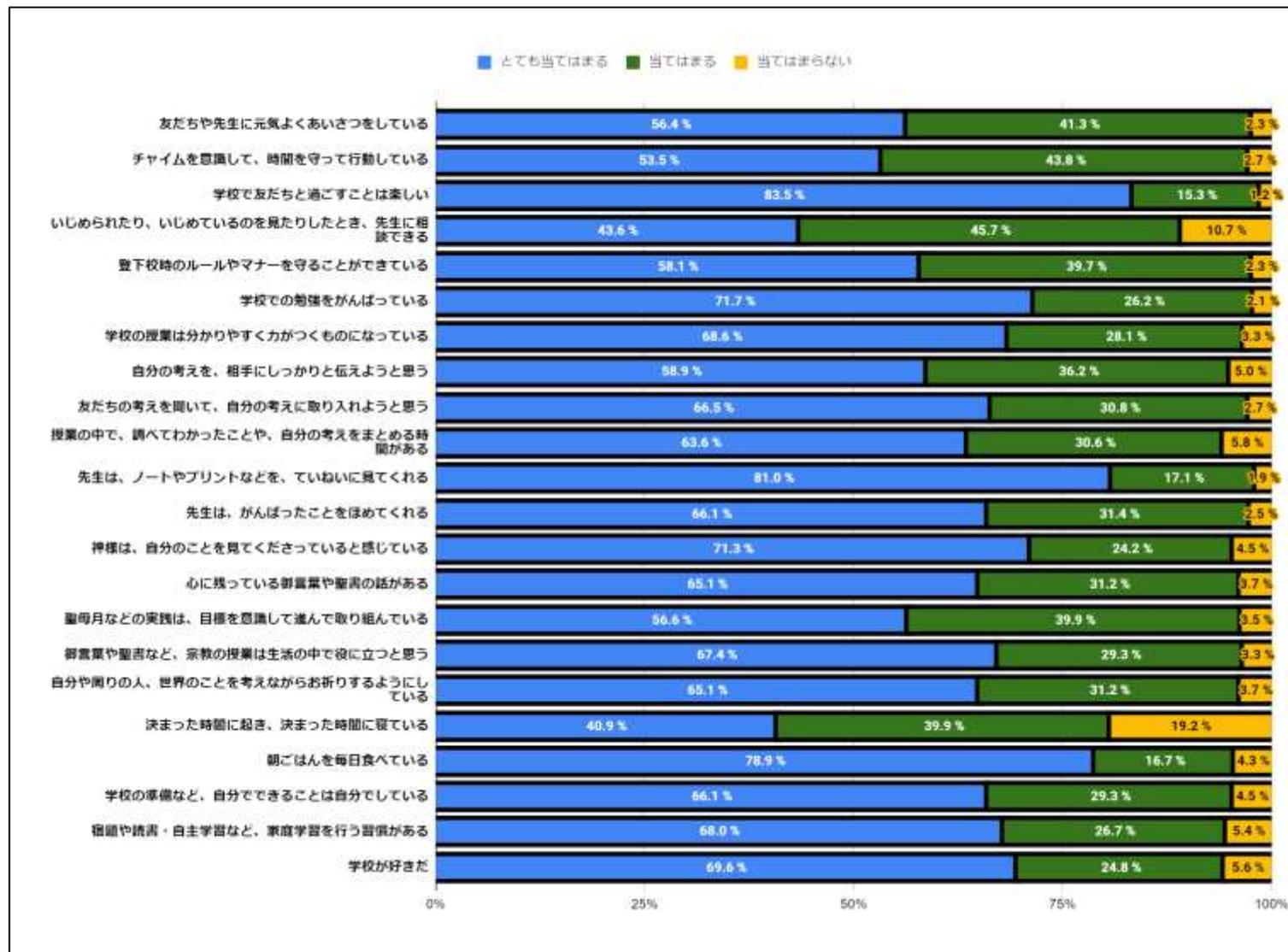
- ・男子の長ズボン、タイツを検討してほしい。
- ・女子校章の針が危険。
- ・給食内容の充実。

（裏面にアンケートの集計結果を掲載しています。）

## ■全校保護者様対象アンケート集計



■全校児童対象アンケート集計（学年ごとの集計は、別紙でお知らせしております。）



## 2021年度学校自己評価報告書(香里ヌヴェール学院小学校)

学校目標	カトリックの宗教的な価値観を基盤として「Men For Others」、人を愛し、自らを高める強い意志と、豊かな心をもつ子どもを育てる。
	「クリエイティブな思考力」、「自分の考えを他人にもわかるように表現する力」、「互いが納得できる最適な答えを見つける課題解決に協働できる力」の3つの力を育成し、「Men For Othersの精神に基づいた平和な社会を作り出す子どもたちを育成する。

対話や表現力を育てるPBL授業	新しい社会を創造するために課題解決力を身につけるPBL (Project (Problem) Based learning) の実践
英語教育	英語運用能力を基礎から段階的に培う週4時間の英語授業 (SSC) / 複数教科の授業の60%を英語で行うイマージョン教育 (SEC)
ICT教育 (オンライン学習)	高度情報化社会に対応する能力を育むICT教育。コロナ禍でも学びを止めないオンライン授業の実現。

重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
教育充実 (PBL・英語教育・ICT教育)	1. PBL型授業の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科内におけるペア・グループによる探求型教育 (PBL授業) の成果があったか。</li> <li>学年進行に合わせたPBL授業の導入・実践ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科及び総合的な学習の時間を中心としたPBL (Project Based Learning) と、教科学習でのPBL (Problem Based Learning) と位置づけ、日常の授業においても各単元の要所に課題解決型の学びを取り入れることを意識した。</li> <li>低学年においては、日常の対話を通じたクリティカルな授業とリフレクションをくりかえし、PBL学習の土壌となる授業づくりに努めている。</li> <li>高学年では、自分で課題をもち、探究し、まとめ、プレゼンテーションをする学習形態の実施によって、思考力が高まるように努めた。特に、5年生SSC対象に、外部講師と連携し、「社会とつながる」ことを目的とした自分の課題を探究するProjectBasedLearningの実践を総合的な学習の時間に行った。</li> </ul>
	2. 英語教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>SECイマージョン授業の円滑な導入と実施ができたか。</li> <li>英語教育の充実を図ることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2・3・4・5年生は、スーパーイングリッシュコース (SEC) とスーパースタディズコース (SSC) の2コース体制を実施。</li> <li>1～5年SECは、外国人教員と日本人教員2名担任制を実施。</li> <li>60%を越える授業を英語で行うイマージョン教育を実施。(国語・社会・特活・宗教を除く)</li> <li>1・2・3・4・5年生SSCは、週3時間+モジュールタイム10分間×4回の英語授業を実施。</li> <li>6年生は、週2時間+モジュール10分×4回の3単位時間にわたる英語授業。</li> <li>英語の授業は全て外国人教員と日本人教員の2名担任制で実施。</li> <li>SECは、TOEFLPrimaryを全員受検し、英語運用能力を指標として確認。(SSCは希望者が受検。) SECは、英語運用能力が高いレベルに推移している様子が評価できた。</li> </ul>
	3. ICT教育 (オンライン学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器 (iPad/Chromebook) を学習場面で使用できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSCはChromebook、SECはiPadと、1人1台環境を整えている。</li> <li>Wi-Fi環境に負荷がかかり、一斉に起動させたり、操作することが難しい現状がある。よりよい環境整備が今後の課題である。(2023年度事業計画に反映。)</li> <li>コロナ禍における学校休業、学級閉鎖時には、全学年でオンラインによる対面授業を行った。また、コロナによる登校不安の家庭には、授業の一部をオンラインで対応した。結果、児童のICT機器の操作能力はもちろん、教職員の実践力も高まった。</li> </ul>
教育のレベル向上	各種研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修の実施の有無</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>英語教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>SEC部会によるイマージョン教育の研究と実践の共有</li> </ul> </li> <li>探究型教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>PBL研修と授業実践。</li> </ul> </li> <li>ICT教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員によるChromebook、Googleclassroomその他アプリの活用法の研修。</li> </ul> </li> <li>宗教教育・人権教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>カトリック精神の理解と醸成のための研究 (聖書) および研修</li> <li>人権教育としてLGBTQ理解のための研修</li> </ul> </li> <li>生活指導・保護者対応、特別支援教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>QUテストを活かした学級経営</li> <li>オンライン中の児童の集中力、対面でないことによる不安感、状況を確認することの大切さ</li> </ul> </li> <li>初任者研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者指導、初任者による模擬授業、実践交流の研修会実施。</li> </ul> </li> <li>西日本私立小学校連合会主催の研修会 (秋季)、その他自主的に様々な教育研修会に参加。</li> </ol>
教育環境の整備	安心・安全な環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種工事の実施</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>設備の点検と改修 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校ピロティ照明器具改修工事</li> <li>防球ネット嵩上げ工事</li> <li>パン購買跡地改修工事</li> </ul> </li> <li>防災・防犯設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>中学高等学校とともに、守衛体制の強化</li> <li>小学校クロックルーム防犯カメラ設置</li> </ul> </li> </ol>